

## 2020 年度

## 授業概要

科目名	地域理学療法学			授業の種類	講義	講師名		
授業回数	15回	時間数	30時間 (2単位)	配当学年・時期	理学療法士科3年	後期	必修・選択	必修
[授業の目的・ねらい]								
行政、保健・福祉センター、介護老人保健施設、在宅、病院など地域社会を基盤に据えた理学療法のあり方について学ぶ。								
[授業全体の内容の概要]								
各領域で地域理学療法を実践されている講師による講義を行う。講義内容の順番は仮のもので変更有り。								
[講師の実務経験]								
岡波総合病院、上山病院、けいはん医療生協、昭和病院、日本健康機構株式会社にて、理学療法士として16年間勤務								
[授業終了時の達成課題(到達目標)]								
地域理学療法の現状と理学療法士の役割について説明できる。								
回数	講義内容							
1	地域理学療法総論(成田浩人)							
2	行政における地域理学療法(山本克己)							
3	"							
4	保健領域の理学療法(畑山浩志)							
5	"							
6	通所リハでの理学療法(松岡隆介)							
7	"							
8	訪問理学療法(小西崇子)							
9	"							
10	広域行政(但馬長寿の郷)での地域理学療法(小森昌彦)							
11	"							
12	介護老人保健施設での理学療法(朝日奈豊)							
13	"							
14	復習							
15	"							
	定期試験							

## 【 準備学習・時間外学習 】

--

## 【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社

## 【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

筆記試験で評価します。